

調査・研修報告書（議員用）

報告者：藤原 洋二

実施場所：三次市生涯学習センター	実施日：2021年10月20日（水）
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 市議会議員の経験が浅いため、この度の「議員の資質向上」研修に参加する必要があると感じた。 特に、議会の役割や機能について、憲法や地方自治法上の解釈を深めることや議会運営における執行部との関係などについて、チェック機関ではなく提案型のスタイルを目指したかったため参加した。	
■参考とすべき事項 これからの議会運営について、「通年議会」の導入によりコロナ感染症対策などの急を要する議案などについて、いつでも議会を開会できる仕組みを構築することにより、執行部の安易な専決処分による対応を未然に防止することの仕組みや方法が参考になった。 なお、市内での新型コロナウイルス感染症が発生している際の議会の対応などについて、委員会条例や議会基本条例を一部改正することにより、オンラインによる委員会や本会議を開催できる対応などが参考になった。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） 現時点では提言などを想定していないが、議会運営における情報の共有（執行部や市民との）、市民参加（傍聴や市民との意見交換、結果報告）、議会機能の強化（議会基本条例の検証）などを基準として検討していきたい。 また、コロナ禍という特殊事情でもあることから、「通年議会」について調査・研究したいと考えている。	